

【記入例②】退職等により未徴収税額を一括徴収する場合

給与支払報告 にかかると 給与所得者異動届出書 特別徴収

◎異動があった場合は、すみやかに提出してください。

※注意  
1 「給与支払者（特別徴収義務者）」欄中の「宛名番号」欄には、この届出書に記載した給与所得者について、その特別徴収税額の通知書に記載された宛名番号を記載してください。  
2 ※印の欄は、記載しないでください。

令和 ○ 年 11 月 20 日		〒 324-0613		特別徴収義務者 指定番号		123**	
那珂川町長様		栃木県那須郡那珂川町馬頭2番**号		宛名番号		11	
フリガナ		フリガナ		担連 当給 者先		所属 氏名	
氏名		那珂川商事 株式会社		那珂川 太郎		電話	
フリガナ		フリガナ		0287-92-****		内線 (115)	
氏名		那珂川 花子		特別徴収税額 (年税額)		70,500	
生年月日		昭和60年8月8日		(イ) 徴収済額		41,500	
個人番号		*1234567****		(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)		29,000	
受給者番号		00-0000		異動 年月日		R○年 1月 31日	
1月1日 現在の住所		那珂川町小川20番地*号		異動の事由		1 退職 2 転任 3 退職 4 死亡 5 支払少額 6 合併 7 合算 8 その他 (事由・理由)	
異動後の 住所		同上		異動後の未徴収 税額の徴収方法		2 1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)	
1. 特別徴収継続の場合		新規		新しい勤務先は、月割額 _____ 円を _____ 月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。		受給者番号	
2. 一括徴収の場合		理由		徴収予定月日		徴収予定額 (上記(ウ)と同額)	
2		1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため 2. 異動が令和○年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため		1 月 25 日		29,000 円	
3. 普通徴収の場合		理由		左記の一括徴収した税額は、 _____ 月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。		1	
1		1. 異動が令和 年12月31日までで、一括徴収の申出がないため 2. 令和 年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため 3. 死亡による退職であるため		※市町村記入欄			

事業所について  
記入してください。

異動者の氏名、フリガナ、生年月日等を記入してください。事業所で使用している受給者番号があれば、ご記入ください。

賦課期日(1月1日)の住所を記入してください。1月1日以降住所の変更があった場合には、変更後の住所も記入してください。

一括徴収する場合の理由について、該当する番号と年を記入してください。

税額通知書の個別明細に記載されている「年税額」を記入してください。

異動者の税額について、何月分から何月分までかを記入し、徴収済額の合計を記入してください。

年税額(ア)から徴収済額(イ)を差し引いた額を記入してください。

徴収予定年月日、徴収予定額、納入予定月を記入してください。

特別徴収税額通知書に記載されている指定番号、宛名番号を記入してください。

この届出について対応される担当者の方の連絡先を記入してください。

【2】(一括徴収)と記入してください。

異動の事由について該当する番号を記入してください。

異動日(退職日等)を記入してください。